

いけばなを楽しもう



- 1 生活にいきる「いけばな」
- 2 「いけばな」に挑戦してみよう!
- 3 「いけばな」の飾り方(活用の仕方)
- 4 「いけばな」についてもっと知ろう!
- 5 私がいけた「いけばな」

皆さんの家には花が飾ってありますか?
ベランダや庭には、花が咲いていますか?
皆さんは、花が好きですか?私たちは、暮らしの中に花を取り入れるのが好きです。
日本では、昔から「自然をいつも手元においておきたい」という思いから「いけばな」が誕生したといわれています。今では、多くの人が世界中で楽しんでいます。心を込めていけた花は、季節の変化に合わせた素敵な空間を作り、見る人を笑顔にさせてくれます。
さあ、「いけばな」に挑戦してみましよう。

年 組 名 前

1 生活にいきる「いけばな」

私たちの生活の様々な場面で飾られている「いけばな」を見てみよう。

見たことや聞いたことのあるものを☒に○か×をつけてみよう。

「いけばな」があることでどんな気持ちになりますか？

また、どんな時に花を飾るのでしょうか。みんなで話しあってみよう。

式典や授賞式

会場に花があると明るく、華やかな雰囲気になります。入学式や卒業式にもステージに花が飾られますね。



お正月(1月1日)

お正月は、気持ちも新たに1年のスタートです。縁起がよいとされる松や、南天、竹、梅、菊などを生けてお客様をお迎えしましょう。



ひな祭り(3月3日)

3月3日の桃の節句は、女の子の幸せを祈り健やかな成長を願って祝う日です。桃の花や桜、菜の花などを飾りお祝いしましょう。



端午の節句(5月5日)

昔から、家ののき先にショウブやヨモギをさしたり、ショウブをいれたお風呂(菖蒲湯)に入る習慣があります。玄関に、ハナショウブを飾っても素敵ですね。



七夕(7月7日)

「織姫と彦星」の物語はとても有名ですね。笹に願い事を書いた短冊を飾るのは江戸時代に始まったと言われてます。今年は美しい天の川が見えるでしょうか。



お月見(十五夜)

収穫に感謝するお祭りで、収穫物をお月様にお供えするようになりました。お月見団子をお供えするのはそのためです。ススキは魔よけとして飾られています。



2 「いけばな」に挑戦してみよう!

(1) 準備

「いけばな」に必要なものを準備しよう。



- 器(うつわ)、花びん
- 花(季節の植物)
- 剣山(けんざん)
- ハサミ
- 吸水性スポンジ など

〈器・花びん〉

水が入るものならば花の器として使えます。家の中にあるグラスや食器類、空きびんやペットボトル、身のまわりのもので使えるものを探してみましょう。



水盤(すいばん)

口が広くて浅い器
剣山をおいて花の位置を決めていけます。



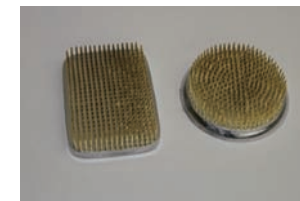
つぼ



足つきの花器(コンポート型)

〈剣山(けんざん)〉

いけばな用の花を留める道具です。金属の針に花の茎をさして花を固定します。丸形や四角の形があります。



〈ハサミ〉

いけばな用のハサミがない場合は、工作用のハサミで代用します。使ったあとは、汚れや水をよく拭きましょう。



左から
「わらび手はさみ」
「古流はさみ」
「クラフトハサミ」

〈花(季節の花)〉

- 春の花
 - ・チューリップ
 - ・カーネーション
 - ・さくら
 - ・ガーベラ



チューリップ

ガーベラ

- 夏の花
 - ・ユリ
 - ・ヒマワリ
 - ・カラー



ヒマワリ

ユリ

カラー

- 秋の花
 - ・コスモス
 - ・キク
 - ・リンドウ
 - ・ススキ



コスモス

キク

- 冬の花
 - ・スイセン
 - ・センリョウ
 - ・ツバキ
 - ・マツ



スイセン

センリョウ

マツ

〈吸水性スポンジ〉

よく水を吸収させて、使う器の大きさに切って使います。花を固定し、茎から水を補給させるために使います。



(2) 「いけばな」のいけ方

① いける花をよく観察しよう

色や形など特徴をよく見てみましょう。
香りも確かめたり、手ざわりを見てみよう。



スイートピーやストックは、とてもいい香りがします。

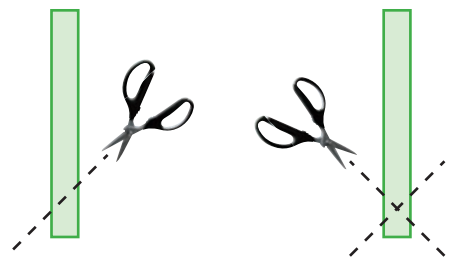
② 使う器や花びんを選びます

図工で作った焼き物の器や、ペットボトルなどでもいけることができます。好きな花器を選びましょう



③ 花の切り方

花はハサミでななめに切ったり、Vの字に切ります。



1. 枝は、上の方を持ちハサミでななめに切ります。
2. 先端がVの字にとがるようにします。
3. 枝先に切り込みを入れます。

【ポイント】

はじめに、花の中で背の高いもの・目立つ花・大きい中心になりそうなものを切ります。

④ 花をいける準備



テーブルの上に花や道具を準備します。
(右利き用の置き方)
右にハサミ、真ん中に花器、左に花や切った残りを置きます。



ハサミはテーブルに直接置かず、タオルなどの上に置くと良いでしょう。

⑤ 水きりの方法

花をいける前に水きりをしましょう。



「水きり」ってなんだろう？

バケツやボウルなどの中に水を入れて、その中でくきの根元を少し切ります。
水を吸い上げる力が高まるのでいける前に「水切り」をすると花が元気に長持ちします。

⑥ 花をいける



1. 両手で枝をしっかりと持ち一番りっぱな枝を剣山の中心にさします。
2. 二番目にりっぱな枝を斜めにしたいときまっすぐさした後、手前にかたむけます。
3. 二番目にりっぱな枝を手前にくるように一番奥にさします。
4. やや細い枝を一番奥にさします。
5. 花を真ん中にさします。



5. 花を奥に少し低くさします。
6. 手前に花をさします。
7. 下草をいれ、剣山をかくします。



いけばなの完成です。



7番のように下草で剣山をかくすようにいけると仕上がりがきれいにみえますね。

3 「いけばな」の飾り方(活用の仕方)

学校に飾りましょう

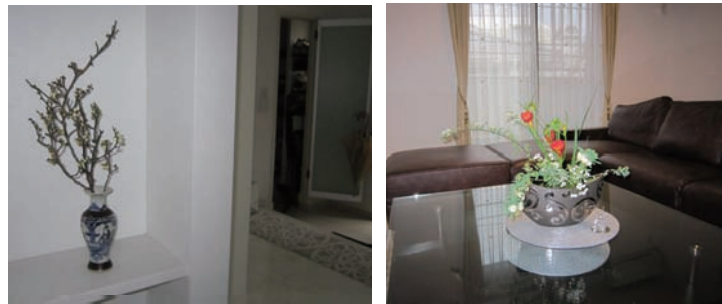
学校にきれいな花を飾り、お客様をお迎えしましょう。
教室やいつも使う手洗い場・トイレにも花を飾ると明るくなりますね。



玄関に飾る 来客用受付 教室 手洗い場

家に飾りましょう

玄関に季節の花を飾ったり、リビングに飾ると家族みんなが
きれいな「いけばな」を見ることができますね。



玄関 リビング



あなたは、いけた花をどこに・誰のために飾りたいですか？
それはなぜですか？

〈飾る場所〉

〈誰のために〉

4 「いけばな」についてもっと知ろう!

ゲストティーチャーの話

ゲストティーチャーから聞いた話の中で、心に残ったことや初めて知ったことを書いておこう。

「いけばな」について友達の感想

私の家は、おばあちゃんが花好きなので、みんな花が好きです。今度、家に咲いている花でいけてみたいです。日本にある文化をこれからも守りたいです。

お花が元気に育つように願うと、お花にも気持ちが伝わるといことがよく分かりました。敬う心もとても大切なんですね。お花にも命があるので、いつまでも大切にしたいです。

いけばなは初体験で、とても楽しかったです。季節感や流行を取り入れることも大事と初めて知りました。これから、お家の中やお庭にもお花を飾りたいです。また、とったお花を枯れるまで育てたいです。

お花を家に持って帰ってきたら、お母さんが喜んでいました。それからお花をいけたらこの前よりとてもうまくなりました。今度おばあちゃんの家に行ったら、またお花をいけてあげようと思います。

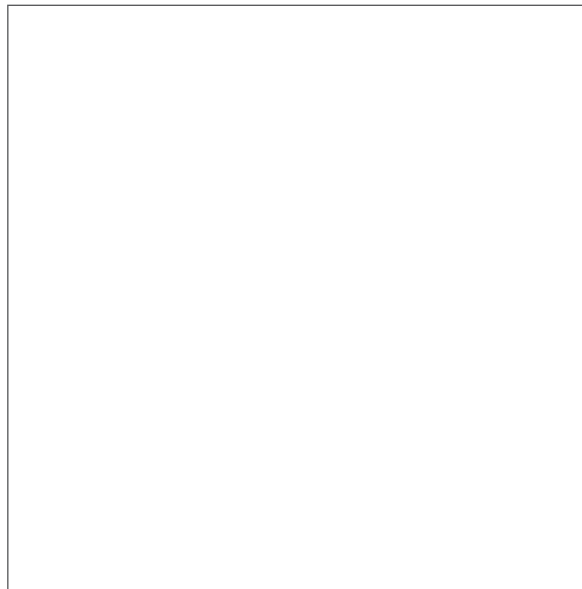
「いけばな」を体験した友達の感想です。
みなさんは、体験してどのような感想を持ちましたか？



5 私がいけた「いけばな」

「いけばな」を体験して感じたことを書きましょう。

自分がいけた「いけばな」の写真を
撮って貼りましょう。



(キリトリ)



教えてくださった先生にお礼のお手紙を書きましょう。

教えてくださった先生に、感謝の気持ちを伝えましょう。

様

年 組 名前

より



いけばなを楽しもう (8時間)

【教科】6年 家庭科
内容 C 快適な衣服と住まい

(1) 快適な住まい方 イ. 季節の変化に合わせた生活の大切さが
分かり、快適な住まい方を工夫できること。

1. 目標：・日常生活に必要な基礎的・基本的な知識及び技能を身に付け、身近な生活に活用できるようにする。
・季節の変化に合わせた生活の大切さが分かり、快適な住まい方を工夫できる。

2. 展開

〈 〉観点

児童の活動・発問	教師の支援(留意点)	評価・探求のポイント
<p>〈副読本P1〉</p> <p>■表紙の写真を見ながら、いけばなについて話し合う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「きれい!」「私たちにもできるかな?」 ・「おばあちゃんがやっているよ」 ・「難しそう」 ・「いけばな教室で教えてもらっているよ」 <p>■ゲストティーチャーの紹介とあいさつ。</p> <p>〈副読本P2〉</p> <p>1 生活にいきる「いけばな」</p> <p>■「いけばな」を生活の場面でみたことがあるか話し合う。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・「いけばな」の作品が準備できれば児童に見せると良い。 ・家の中に花が飾ってある児童にどんなとき、どんなところに飾っているか発表してもらおう。 ・昔からある「いけばな」を今日は、ゲストティーチャーから教えていただくことを伝える。 ・児童が身近に感じるように、紹介の仕方を工夫する。 	<p>〈関・意・態〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・表紙の写真を見ながら積極的に発言している。
<p>「いけばな」は、皆さんの身の回りでもたくさん見かけることがあると思います。 どんな場面でみたことがあるか、みんなで考えてみましょう。 写真を見ながら、見たことがあるものに○をつけてみましょう。</p> <p>■P2の写真を見ながらチェックをしたり、自分で知っている物を書き込んだりする。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・自分で考えたものも含め何人かに発表してもらおう。 	<p>〈知・理〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・体験などを元に気持ちを表現している。(P2書き込み・発言・つぶやきなど)
<p>「いけばな」があると、どんな気持ちになりますか?</p> <ul style="list-style-type: none"> ・花の香りがすると気分がよくなる。 ・季節感がでる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・昔の人が「自然を取り入れて」生活を豊かにしたことを伝える。 ・快適な住まい方の工夫の一つであることをおさえる。 	
<p>〈副読本P3〉</p> <p>2 「いけばな」に挑戦してみよう!</p> <p>(1) 準備 「いけばな」に必要なものを準備しましょう。</p>		
<p>「いけばな」に必要な物を見てください。</p>		

- P3の写真をしながら準備について知る。
- ・色々な形があるね。
- ・えーっ。ペットボトルでもいいの？
- ・図工の時間に作った器でもいけられるね。
- ・家にある空き瓶にも似ている形があるよ。

- ・道具など、できれば実物を見せながら説明できるとよい。
- ・ペットボトルや、オアシス、剣山など使用するものを伝える。
- ・児童が身近に感じるように、紹介の仕方を工夫する。

- 器や使う資材、花材などを配布する。

- ・ペットボトルや、オアシス、剣山など使用するものを伝える。(担任は、安全を考えながら手伝うようにする)

〈副読本P4・P5〉

(2) 「いけばな」のいけかた

いける花をよく見てみましょう。色・形を見て、香りもかいてみましょう。

- 使う花の名前や扱い方の説明をする。

- ・花の名前や産地の説明をし、花の感触を感じたり、においをかいだりするように声をかける。

- ・いい香りがするね。
- ・こんな花があったら、おばあちゃんきっと喜ぶよ。

- ・色や形などを見て、誰のためにいけるか考えさせる。

P4・P5を見ながら花をいけていきましょう。

- 花の切り方やいけ方を説明する。

- ・茎を切る時にはさみの扱い方に注意する。
- ・挿しやすさを考えて斜めに茎を切る。
- ・水きりについて触れておく。
- ・背の高い目立つ花、中心になりそうな花を切る。
- ・次に空いた空間に、別の小さな花を好きな長さに切っていけていく。
- ・緑の葉物は、足元になるべく短く入れる。
- ・完成したらラッピングペーパーを巻いたり、リボンで飾ったりしても良い。
- ・回りながら、良さをほめるように声をかける。

- ・斜めに切ると挿しやすだね。
- ・中心の花が決まるといけやすいよ。
- ・自分流に好きな長さでいけられるのは楽しいね。
- ・やったあ！かっこいい。どこに飾ろうかなあ〜。
- ・リボンの色を変えると雰囲気が変わるね。

- 机の上を片付ける。

最後に片付けをしましょう。机の上を何も無い状態にきれいにしましょう。

〈副読本P6〉

3 「いけばな」の飾り方(活用の仕方)

- 各自作った「いけばな」を机の上に用意。

みんなの作品を見合ってみましょう。みんな上手にいけられたね。同じ材料を使っても、一人一人の個性が出てすばらしいですね。

- ・○○ちゃんみたいないけ方もおもしろいね。
- ・緑の葉の入れ方で雰囲気が変わるね。

〈関・意・態〉

- ・花をよく観察し、いける場所などを考えている。(つぶやき、発言など)

〈関・意・態〉

- ・花の切り方やいけ方の順序を知り自分のいけた花に満足している。(つぶやき、感想文)

どこに、誰のために飾りたいですか？

〈副読本P6〉

4 「いけばな」についてもっと知ろう！

- どこに、どんな人の為に飾りたいかを考えて思いを書き込む。

- ・P6「いけばなの飾り方」の例にも触れ、もっとほかの場所なども発表させ、発想を広げるようにする。

- ・私は、玄関に飾りたいです。家に来た人を気持ちよく迎えたいからです。

〈副読本P7〉

4 「いけばな」についてもっと知ろう！

- 7Pゲストティーチャーの話で心に残ったことや友達の感想を読んで感じたことを発表する。

- ・各自の個性を褒め、皆が違って良いことを伝える。

- ・時間があればお互いの作品を見合うと良い。

- ゲストティーチャーにお礼とあいさつ。

教えてくださった先生にお礼を言いましょう。

- ・いけばなを飾ることで、気持ちよい快適な住まいを作ること伝える。

〈副読本P8〉

5 私がいけた「いけばな」

- ゲストティーチャーにお礼の手紙を書く。

「いけばな」について感じたことを書きましょう。教えてくださった先生にお礼のお手紙を書きましょう。

- ・写真に撮ってみるとまた感じが違うな
- ・家に飾ったらみんなに喜ばれた事を書こう。
- ・いけばなって難しいと思ったけどうまくできてうれしかったことを感想に書こうかな。

- ・飾った後の様子を伝えてもらうと良い。
- ・お礼の手紙は、コピーなどを残しておくともよい。後で評価にも使える。

〈創・工〉

- ・季節の花を飾ることで、住まいの雰囲気が変わったことを実感し、快適な住まいを作るために様々な工夫をしようとしている。(感想・お礼の手紙)

指導に当たって

事前に行っておくこと

- ・いけばなの専門家との事前打ち合わせを行い、短い時間の中で技能と知識を盛り込めるようにしたい。流派によって生け方に違いがあるので注意する。
- ・ペットボトル等、自作の器を使う際は事前に作っておくとよい。また切り口などで怪我をしないように、ビニールテープなどを貼っておくとよい。
- ・焼き物の器を制作する場合は、図工の専科などと打ち合わせを行い、時期を工夫するようにする。

実施時期

- ・快適な住まいを考えて、季節の花を選べばいつでもよい。また、「敬老の日」などの行事に合わせて感謝の気持ちを表すためにいけたり、入学式・卒業式などの時に、教室や廊下などに飾ったりするのもよい。

花の種類

- ・背の高い花と低い花などの2～3種類と緑の葉物を組み合わせて、色や形を選び、季節感が出る物がよい。
- ・家に持ち帰ることも考えて、花の大きさなどを選ぶとよい。

3年生～6年生の違い

- ・3～5年生…学校行事や季節の行事などに合わせて、学活、道徳、総合などで扱うことができる。「誰かのためにいける」という気持ちに重点を置いた指導が望ましい。
- ・6年生…家庭科で扱う場合は、自然を取り入れ、快適な住まいをつくるという姿勢を強調したい。社会の歴史の学習(室町時代に作られた日本独特の文化)の発展として扱うことも可能。この場合は、「いけばな」の知識についての調べ学習なども取り入れるとよい。

その他

- ・日本独特の文化である「いけばな」が身の回りのもので簡単に楽しめることが実感できるとよい。経験を活かして季節感などが感じられる快適な住まい作りに意欲的に取り組むようになることを期待したい。
 - ・担任教師が教えることも可能だが、できれば専門の方にゲストティーチャーとしておいで頂く方が望ましい。担任は、安全などに配慮してバックアップを図ることで子供達の個性を発見することもできる。
-
- ・外部アドバイザー(花育アドバイザー)についてのお問い合わせ先
全国花育活動推進協議会 ウェブサイト：<http://www.hanaiku.gr.jp>